

水道 News 現場レポート8

愛知県南知多町 ”非開削工法で水道配水用ポリエチレン管250Aを布設！”

愛知県南知多町水道課様にポリエチレン管の特性をご理解,ご採用いただきました。

物件名 : 南知多町内海62号配水管 [石綿管] 布設替工事その3 - 2

工事業者名: 有限会社 竹本設備、日本ノーディッグテクノロジー株式会社 (非開削工事)

<内容> 非開削(アーバンノーディッグ)工法による工事を実施。

水道配水用ポリエチレン管エスロハイパー250Aを布設しました。



工事は、河川に合流する水路(深さ2m)の横断部。推進区間約30m(片側15m)で、緩やかに勾配させ、水路を伏せ越します。



ガイドドリルユニットを設置。発進立坑手前から、ドリルを貫入。地上から、探知、誘導し計画路線を推進していきます。



水道配水用ポリエチレン管は、事前に融着接合を完了。長尺管35mを作成しました。



立坑に到達したドリルロッドに、リーマー、ポリエチレン管を順番に接続。リーマーから水を噴射させながら引き込みを開始します。



管を吊り上げながら、少しずつ引き込んでいきます。ポリエチレン管の柔軟性と融着による一体化が役に立ちます。



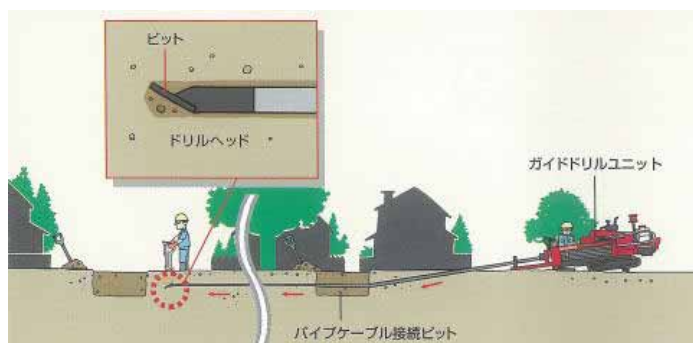
管が立坑に到着。外表面に大きな傷もなく、後日、両端を既設管と接合、無事工事を完了しました。(引き込み速度 約0.25m/分)

無事工事が完了。南知多町水道課様並びに、ご協力いただいた工事関係者の皆様、ありがとうございました。

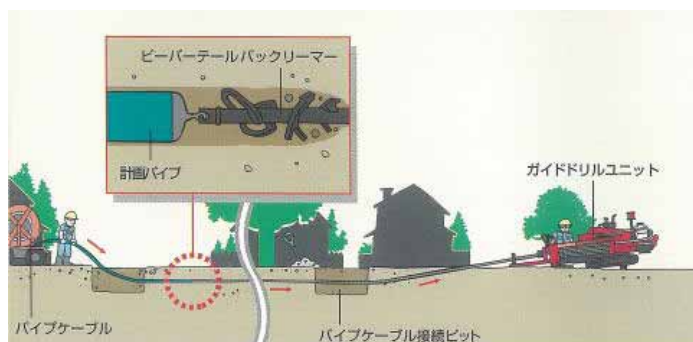
ポリエチレン管を利用した非開削工法とは？

アーバンノーディッグ工法プロセス

1. ドリルヘッドに内蔵されたビーコンからの信号を探知しながら方向修正を行い、計画線上を推進します



2. 管を接続し、推進補助液を噴射させながら二次削孔(拡径)を行い、反対側の立坑にポリエチレン管を引き込みます。



交通量の多い道路の横断工事や、水路の伏せ越し工事など、エスロハイパーを利用した非開削工法がお役に立ちます。